

夢中 熱中 全集中

福山市立日吉台小学校

4 年学年通信

NO,13

2021 年(令和 3 年)11 月 30 日

やりきった! 音楽発表会♪

保護者の皆様、11 月 19 日の音楽発表会にお越しくださり、ありがとうございました。子ども達は、「家族に日頃の感謝の気持ちを伝えたい。」「平和への願いを届けたい。」という思いを胸に練習し、本番に臨みました。子ども達の気持ちは、届いたでしょうか？

音楽発表会に至るまでの過程で、自分の目標をもち取り組んだこと、くじけそうになってもあきらめなかったこと、音楽を演奏するだけでなく、伝えたい思いをもったこと、全体練習での 5・6 年生の姿から学んだこと、3 年生のお手本になったこと・・・など多くのことを学び、力を付けてきました。どの子もじぶんらしく頑張り、やりきることができたと思います。頑張った子ども達の作文を紹介します。



「音楽発表会」

島原 侑己

「四年生の入場です。」
ぼく達の音楽発表会は、この言葉から始まりました。
今日は、いよいよ音楽発表会です。ぼくは、朝からまだかまだかと、待っていました。
給食を食べ、プレイルームで声出しをしました。ぼくは、声をはっきり出すという目ひょうを立てました。
ぼく達の順番になり、体育館の外へならびました。
教頭先生が、「四年生の入場です。」と、言いました。とびらがガラガラと開き、中へ入りました。
まず、「にじ」を歌いました。おねがドクドクとなって、きんちようしているのが分かりました。
次に、辺りがしずかになり、がっそう「リメンバー・ミー」が始まりました。この時、きんちようはいつのまにかおさまっていました。
ぼくは、今日の音楽発表会で、お家の人に、感しやの気持ちを伝えることができたと思います。

★島原君の作文の始め方が、とても印象的でした。工夫していますね。初めは緊張したと思いますが、最後までよく頑張りました。今年学んだことを、来年に生かしていきたいですよ。

がんばった音楽発表会

西塚 美結

今日の音楽発表会で、がんばったことが三つあります。一つ目は、セリフを言う時の声です。自分は、セリフを知っているけれど、お客さんは、初めて聞くから、ゆっくりとはきはき言うことをがんばりました。
二つ目は、歌です。一番後ろの人に聞こえるように、大きな口で大きな声ではきはきと歌うことをがんばりました。
三つ目は、合奏で初めてのアコーディオンにチャレンジしたことです。立ってするソロでは、同じパートの三人で心を合わせて演奏しました。とっても楽しかったです。市川さんが考えた赤いちようネクタイもとってもかわいかったし、とっても心に残る音楽発表会でした。
終わって、ドアを出る時に、坂本先生が「おつかれさま。」と、声をかけてくださいました。私達は、とってもがんばったんだなと思いました。

★チャレンジした音楽発表会でしたね。役割に挑戦することで得られる学びがありますよ。努力をすることも楽しみながらできているのがとてもすてきです。

チャレンジタイム★読み聞かせ週間

チャレンジタイムに1年生から6年生の先生方が読み聞かせに来てくださいました。おもしろい本、考えさせられる本、感動する本など様々な本と出逢い、本への興味が高まったようです。お家や図書館のおすすめの本を持って来て、紹介してくれる子どもたくさんいます。



『読書の秋』 ご家庭でもお子さんと一緒に本を読んだり、おすすめの本を紹介し合ったりしてみると楽しい時間になるとと思います。

チャレンジタイムでの読み聞かせ
中西 瑠加

今週は、読み読む週間で先生方が他の学年に本の読み聞かせをしてくださいました。私は、本が好きなので、読む読む週間で先生方が読み聞かせをしてくださったことで、もっと本が好きになりました。

一年生の先生が読んでくださった本は、「さがしています」です。この本は、戦争に関係している話です。

二年生の先生が読んでくださった本は、「へっこきよめどん」です。この本は、およめさんがすごいおならをした、おもしろい話です。

五年生の先生が読んでくださった本は、「なぜ僕は働くのか」です。この本は、よく分からなかったけれど、勉強になる本だと思いました。

六年生の先生が読んでくださった本は、「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビナスビを売らされました」です。この話は、すごく感動する話です。この話は、優しくお母さんが急に鬼のようになったのは、理由があります。

このように、たくさん本の読み聞かせがあって、よかったなと思いました。

★本の世界を楽しんでいますね。題名や内容が心にきざまれるくらい、楽しんで聞いたのですね。

読む読む週間で印象に残った本
土屋 萌華

十一月十一日から十一月十八日までの五日間、各学年の先生がチャレンジタイムの時間に本を読みに来てくださいました。私が一番印象に残っている本は、井平先生が読んでくださった「あしなが」という本です。

この本では、「あしなが」という犬が、となり町からひっこしてくる場面があります。あしながには、広い家に住んでいて、子犬をゆうかいして食べるというわさがあり、とても悪い印象でした。

私は、どうして子犬をゆうかいして食べるというわさがたつたのだろうかと思いました。

しかし、終盤になって、あしながの正体が分かりました。あしながは、広い家に住んでいない野良犬で、親とはぐれてしまった子犬のお世話をしていたのです。

読み聞かせを終えて、私は、自分のことをふり返りました。私は、以前うわさ話をしてしまったことがあります。

しかし、このお話を聞いて、うわさだけだと本当のことが分からないのだと気づくことができました。

これからは、さまざまな本を読み、人の気持ちを感じ取れるようになりたいです。

★読み聞かせの内容をもとに、自分の経験を振り返り、次に生かそうとしているところが素敵です。人との関わり方についても、本から学ぶことができると思うことができましたね。

お知らせ

12月の納金は5,000円です。引き落としは、12月7日(火)です。

・給食費	255円×17回	4,335円
・学年費		160円
・タブレット端末保守費		381円
・雑費		80円
・手数料		44円
計		5,000円

学校教育目標「自ら気づき、考え、判断して行動する子どもの育成」